

# 第23回 東南アジア世界の形成

## 1 東南アジア

- ・東南アジア地域は、インドシナ半島を中心とする大陸部と、多くの島々からなる諸島部（島嶼部）から成り立っている。
- ・香辛料や香木などの資源が豊富で、中国とインドを結ぶ「」の中継地点として発展し、多くの（）が成立した。  
→4、5世紀には、インド文化の影響を受けて各地で「インド化」が進んだ。

## 2 ベトナム北部の歴史

- ・前4世紀～前1世紀ころ、（）が成立した。  
→中国の影響を受けて青銅器の（）や鉄製農具が使用された。
- ・前3世紀、秦の始皇帝の支配を受け南海郡など3郡が置かれた。  
→秦の滅亡後、趙佗により（）という国が成立した。
- ・前111年、前漢の（）が南越を滅ぼし、日南郡など9郡を置いた。  
→後漢の光武帝の時代、徴姉妹の反乱が起きるが失敗。  
→唐代には安南都護府が置かれるなど、中国王朝による支配が続いた。



銅鼓  
様々な文様が描かれており、祭祀などに用いられた。



前漢の武帝  
プリント28回で詳しく。

☆（）（1009～1225年）

- 都…昇竜 ※紅河の流域にあり、現ベトナムの首都（）
- ・939年に呉朝が中国から自立した後、李公蘊が李朝を建国した。
  - ・仏教や儒教の影響を受けて、科挙も実施した。  
→1225年、李朝に代わり、（）が成立した。



現在のハノイ  
バイクが洪水のように走り回っている。フォーがうまいです。

## 3 ベトナム南部の歴史

- ☆（）（2世紀末～17世紀）
- ・（）によって建てられ、インドの影響を強く受けた。
- ・中国では2～7世紀に（）、8世紀に環王と呼ばれ、中継貿易で栄えた。

## 4 ビルマ（ミャンマー）の歴史

☆ピュー（8世紀～9世紀?）

- ・ピュー人が（）流域に建国した小国家とされる。

☆（）（建寺王朝）（1044～1287年）

- ・11世紀、ビルマ人が建国したビルマ最初の統一王朝。
- ・スリランカ（セイロン島）から（）を受け入れ、多くの仏塔や寺院を建立した。



パガン  
パガン遺跡は、アンコール=ワット、ポロブドゥールと並ぶ世界3大仏教遺跡のひとつである。

## 5 カンボジアの歴史

☆ ( ) (1世紀末ころ～7世紀半ば)

- ( ) の下流を支配し、インドの影響を強く受けた。  
※東南アジア最初の国家という説がある。
- 扶南の外港 ( ) は、ローマとの交易で栄えたとされる。



ローマ金貨  
オケオでは、ローマ金貨がたくさん発見されている。

☆ ( ) (カンボジア) (6世紀～15世紀)

- ( ) がメコン川中流域に建国し、ヒンドゥー教を国教とした。
- 8世紀初頭に陸真臘と水真臘に分裂したが、( ) の時代に再統一された。

→鉄資源や灌漑による農業生産によって栄え、全盛期を迎えた。



アンコール=ワット  
カンボジアの国旗に描かれているように、カンボジアを象徴する遺跡である。

- 12世紀、スールヤヴァルマン2世は、ヒンドゥー教寺院である ( ) を建設した。

→後に上座部仏教寺院となった。

- 13世紀、ジャヤヴァルマン7世は都城の ( ) を建設した。

## 6 タイの歴史

☆ ( ) (6世紀～11世紀)

- ( ) がチャオプラヤ川の下流域に建国した。  
→13世紀に入ると、タイ人が最古の王朝である ( ) を建国した。

## 7 インドネシアの歴史

☆古マタラム王国 ( ) (8世紀ころ)

- ジャワ島中部にヒンドゥー教のプランバナナ寺院群を建設した。

☆ ( ) (8世紀半ば～9世紀前半)

- ジャワ島中部に大乘仏教遺跡の ( ) を造営した。



ボロブドゥール  
シャイレンドラ朝の崩壊後は密林に埋もれていたが、19世紀に偶然発見された。

☆クディリ朝 (928～1222)

- 10世紀にジャワ島に成立し、( ) と呼ばれる影絵芝居が行われた。

☆ ( ) (670年ころ～14世紀)

都… ( )

- ( ) を中心に、海上交通の要衝を抑えて繁栄した。
- ジャワ島のクディリ朝や南インドのチョーラ朝と交易をめぐって争った。
- 中国では唐代に室利仏逝、宋代以降は地域の小国家をまとめて三仏齊と呼ばれた。
- 7世紀、( ) の仏僧 ( ) が、インドからの帰りに立ち寄った。  
→著書『 ( ) 』に詳しく記述されている。